

主担当部：健康福祉部

(プログラムの目標)

地域における次世代育成支援の定着に向けて、多くの県内企業において仕事と家庭の両立支援の取組が行われています。また、「みえ次世代育成応援ネットワーク」に参画する企業や団体等を中心としたさまざまな協働の取組が県内各地で広がっています。

(プログラムのねらい)

次世代育成支援の担い手の一員である「企業」が、ワークライフバランス（※注1）の実現や働き方の見直しをめざし、率先して次世代育成支援に取り組める環境づくりを推進します。

また、地域の団体が行う子育て応援の取組の一層の活性化をはかり、企業と地域の団体とが連携・協働して次世代育成に取り組むささえあいの地域社会を構築します。

(プログラムの背景)

次世代育成支援はさまざまな分野での取組が必要であり、特に、子育て期の家族が子どもと過ごす時間を確保できることなど、ワークライフバランスの実現や働き方の見直しが行われることが必要です。この課題は行政だけで解決できるものではなく、企業などさまざまな主体が協働して取り組む必要があります。

また一方、多様な主体による取組の促進には、社会全体の気運の醸成が必要であり、次世代育成が県民一人ひとりの課題として認識され、地域社会全体で子育て家庭を支援する取組が求められています。

(プログラムの構成)

取組方向1：地域の子育て支援活動の促進に向けて

(県の取組)

- (1) 次世代育成支援の取組に係る情報収集・発信を行うとともに、子育て支援者の資質の向上や取組の連携をはかるなどさまざまな取組を行い、地域の子育て支援を促進します。
- (2) 次世代育成支援にかかる先駆的な取組をモデル事業として実施するとともに、その内容を広く情報提供します。

(県が他の主体に参画を期待する取組)

- 市町は、保育事業や地域子育て支援センターなどの取組を充実します。
- 市町と地域の子育て支援団体は、さまざまな取組において、連携・協働します。

取組方向2：企業の次世代育成支援の取組の促進に向けて

（県の取組）

- （1）企業の次世代育成に対する支援策を行うとともに、子育て中の社員に対する事業主、従業員の理解と協力を促進します。
- （2）従業員の子育て支援に取り組もうとする中小企業に対して低利な資金を提供し、県内の子育て環境の整備を促進します。

（県が他の主体に参画を期待する取組）

企業は、自社の持つ人材、ノウハウ等を活用し、地域の団体等と協力して次世代育成支援の取組を行っています。

三重労働局等関係機関は、子育て支援の取組の推進に向けて積極的に連携・協働します。

取組方向3：地域と企業の連携・協働による取組支援に向けて

（県の取組）

- （1）企業や商店が実施する子育て家庭への応援割引のしくみづくりをします。
- （2）次世代育成応援ネットワーク会員の企業や地域の団体等の活動を促進するため、ネットワークの広報啓発や主体的な取組を支援します。
- （3）経済団体、企業と連携・協働し、近畿2府7県共同で広域的な子育て支援キャンペーンに取り組みます。
- （4）「三重県次世代育成支援行動計画」の円滑な推進をはかるために、関係機関と協働するとともに、県民一人ひとりをはじめとする多様な主体と情報共有を行います。

（県が他の主体に参画を期待する取組）

企業による従業員の育児休業の取得促進や両立支援など次世代育成支援のための取組の推進が期待されます。

多様な主体は、子育て支援の取組の推進に向けて積極的に連携・協働します。

- （注1）：ワークライフバランス：仕事と私生活をバランスよく両立させること

平成19年度 みえの舞台づくりプログラム要求事業一覧

(単位：千円)

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
健康福祉部	子育て情報交流センター 事業費	332 (p. 58)	子育て環境の整備	11,594
健康福祉部	ささえあいのしくみづく り事業費	332 (p. 58)	子育て環境の整備	19,980
健康福祉部	子育て家庭応援事業費	332 (p. 58)	子育て環境の整備	5,546
教育委員会	みえの地域きずな創生事 業費	121 (p. 5)	生涯学習の推進	2,001
(事業 計)				39,121

